



広野ゆうじの

コッコちゃん通信



議 会 報 告

発行者／広野ゆうじ事務所 雲南市木次町寺領275番地
TEL 0854-42-2524 FAX 0854-42-3214 携帯 090-1687-5616
メールアドレス y-hirono@bs.kkm.ne.jp ホームページ https://hironoyuuji.jp



広野ゆうじの 議会報告会開催

2025年5月30日から6月6日にかけて、市内4か所（木次町日登地区、西日登地区、温泉地区、吉田町）において、議会報告会を開催し、合計62名の市民の皆様にご参加いただきました。

この議会報告会では、立候補した時の7つの公約や、令和6年12月定例会、令和7年3月定例会、一般質問の内容、財政問題等について報告させていただきました。

報告終了後の、質問や意見では、次のようなものがありました。

- ① 島根原子力発電所について
- ② 竹林被害について
- ③ J R 木次線の活用方法について
- ④ 大型圃場整備について
- ⑤ 加茂文化ホールの改修について
- ⑥ コウノトリについて
- ⑦ 食の杜かやぶきの家について
- ⑧ 主要県道安来木次線について
- ⑨ 木次体育館について
- ⑩ 捕獲イノシシの処理について
- ⑪ U・I ターンについて
- ⑫ 企業誘致について
- ⑬ 住宅団地について
- ⑭ 小・中学校の在り方について
- ⑮ 空き家対策について
- ⑯ 消防団・消防機庫等について
- ⑰ 災害復旧について
- ⑱ 水田農業問題について

⑲ 林業対策について
⑳ 人口減少と事業承継について
など、たくさんのご質問、ご要望、ご意見等をお伺いし、時間が足りないくらいでした。

今回の、皆様のご意見を踏まえて、これからの議員活動を通して、ご期待に沿えるよう頑張っていきたいと思えます。

来年も、同様の報告会を行いたいと思っておりますので、ご参加いただけたら幸いです。他地区においても、ご希望がありましたら、お声かけください。



令和7年6月定例会

令和7年6月定例会が6月22日から15日の会期で開催されました。条例その他9件、承認7件、報告10件が上程され、慎重審議の結果、原案通り可決しました。又、議員発議2件を原案通り可決しました。

令和7年度6月 一般会計補正予算

316億9,918万円（補正額 5億7,918万円増）
（対前年度 16億8,582万円減）

主な予算	脱炭素社会構築推進事業	2,195万円(補正後 2,478万円) (温浴施設等の省エネ・再エネ化可能性調査等)
	公園施設整備事業	7,800万円(補正後 1億5,000万円) (加茂公園、大東公園スコアボード等)
	社会福祉施設整備事業	1億5,917万円(新規) (加茂健康福祉センターの熱源施設改修)
	道の駅さくらの里きずき活性化整備事業	1億7,654万円(新規) (公園・駐車場整備、たんびにきて家改修工事等)

議員発議

雲南市議会 ハラスメント 根絶条例の制定

令和7年3月定例会での「雲南市議会の綱紀粛正に関する決議」に続き、今定例会において、「雲南市議会ハラスメント根絶条例の制定」の議員発議が行われ、全会一致で可決されました。今後は、より一層、議員一同、政治倫理の向上に努めていかなければならないと思えます。

広野ゆうじの 一般質問

質問 1 農業の 地域計画のQ&A



一般質問
アーカイブ



問 地域計画は、地域農業の将来の在り方と、目標地図を明確にすることにより、農作業がしやすく、手間や時間、生産コストを減らすことが期待できる農地の集約化等の実現に向け、地域の関係者が一体となって話し合い、次の世代に着実に引き継いでいくことを目的としている。今回の「地域計画」には、荒廃農地も入っており、十分に地域と協議されていないと感じる。地域に寄り添って、早急に「地域計画」を見直し、農地の集約化または集積を行ってゆく道筋を作るべきであると思うが、市の見解を伺う。

答 今回の「地域計画」策定には、十分な話し合いができておらず、今後は、地域に寄り添って、見直しを継続的に行っていく。又、農業振興地域内の農地の利用方法についても検討する。これままで、農地の集積が進んでこなかっ

たが、今後は、今暮らしている農家の方や、新規就農者、あるいは、地域に合った農業の取組の提案等行いながら、農地の集積又は集約化に取り組んでいく。



質問2 中小零細企業対策について

問 中小零細企業は、これまで継続されてきた事業の持続的発展、起業と新規事業への展開が必要。そのためには、労務費を含む諸物価高騰に対する適正な価格転嫁（値上げ）、生産性を高めるための合理化と労働力の確保、円滑な事業承継が必要。これら3点について、市として、寄り添った支援が必要と考えるが、市の見解を伺う。

答 適正な価格転嫁については、県や支援機関等でサポートを行っている。紹介している。今後は、市としてどのような支援ができるかを含めて、**寄り添った対応**をしていく。賃金の引き

上げは、利益の確保に裏付けられた形で行われるべき。物価高騰対応補助金、人材確保支援事業補助金等により、県等と共に、しっかりと支えていきたい。事業承継については、事業者の皆様が未来につなげていくという認識を持っていただけるよう、市や商工会が関与し、そのあと、島根県の引継ぎセンター等へ引き渡していきたい。

※今、事業者の皆さんが行っている事業は、個人のものではなく、公的な仕事を行っているという認識を持っていただき、未来に向けてしっかりと引き継いでいただきたいと思えます。



質問3 財政問題について

問 雲南市中期財政計画において、厳しい財政状況が示された。この原因は何であるかを問う。このような状況では、市民が安

心して暮らすことができない。早急に改善の方向性を示すべきである。又、令和5年度の統一的な基準による財務書類において、住民1人当たりの負債額が、117万円、住民1人当たりの行政コストが約82万円と類似団体と比べて非常に多い。財政の再建、特に人口減少社会において、公共施設の再編、行政サービスの棚卸による徹底した合理化が必要と考えるがいかがか。

答 財政上の課題は、単年度の収支不足と実質公債費比率の上昇である。収支不足は、義務的経費（人件費・扶助費・公債費等）の増加と、歳入の大半を占める地方交付税の伸びが見込みにくいことであり、実質公債費比率は、公債費が令和11年度をピー



クに増加する一方、地方交付税の伸びが見込みにくいことである。公債費の増加は、過去のペーシとしての公共事業の実績が現状をつくっている。災害復旧事業については、多くの交付税措置が行われる起債であり、実質公債費比率には直接的な影響を及ぼさない。急激な歳出の削減は、地域活動等に大きな影響を及ぼすため、ソフトランディングさせていくことが重要であ

編集後記



7月に入り、例年より早い梅雨明けと、例年通りの猛暑が予想され、水田におきましては、水不足や、高温被害、カメムシの発生等、心配しているところ。しかし、何よりも、皆様には、熱中症にならないよう注意していただきたいと思えます。

令和7年6月の定例会も終わり、すべてが、初めての経験ではありますが、市民の皆様からのご意見、要望等もたくさんいただき、一つ一つまじめに、一生懸命取り組んで行くつもりです。

7月には、議員視察で、島根原子力発電所、新潟県三条市の「伝統的地場産業の取組

る。財政の健全化や行政サービスの見直し、効率化は、避けて通れない重要課題であり、各論として、施設の更新や大規模な修繕を必要とするものは、徹底した議論を重ねていく考えである。事務事業の見直しの徹底と、行政サービスの提供についても、地域の実情を踏まえ、業務の効率化、総合センターや窓口業務の在り方の検討など、行政改革を推進する。

（金属工業）、同じく新潟県上越市の「スマート農業の取組（中山間地の取組も含む）」、富山県射水市の「老朽空き家対策」の研修に行つてまいりました。いずれも、大変ハードな行程でしたが、エネルギー問題と安全性の担保、地場産業の振興、中山間地における農業の在り方、空き家対策とまちづくり等について、大変参考になりました。今後の議員活動に生かしていきたいと思えます。

暑い季節が続きますが、皆様にはくれぐれも健康にはご留意いただきますようお願いいたします。私も、額と、脳みそに汗し、「笑顔輝く幸せな雲南」になるよう頑張つていきます。

廣野祐二